



春の彼岸頃、沿岸部に多いことが和名の由来となる。九頭竜川河口産 全長：約25cm

フグ科 トラフグ属

【全長】35cm

## ヒガンフグ

学名: *Takifugu pardalis*

### 分布域

日本全国に分布する。

### 生息域

主に沿岸部から河口域に生息。  
幼魚は汽水域にも侵入する。



丈夫な魚。北潟湖産 全長：約5cmの幼魚

沿岸部の岩礁域を好み、幼魚は汽水湖にも侵入する(純淡水域には侵入しない)。体色は淡白色に黒色～茶褐色の斑紋が散在し(ヒョウ柄模様)、腹面は無斑。食性は動物食性で底生動物・甲殻類・貝類などを食べる。産卵期は3～4月。春の彼岸の時期に岸近くでよく獲れ、これが和名の由来になっている。体表面は細かい突起で覆われザラザラする。全長は大きくなる。毒性は強く、内臓・皮膚には毒を持ち、食用にはしない方が無難。

水槽での飼育は可能。飼育水に海水を用い、餌は活きた甲殻類(エビ)やゴカイなどを与える。水槽内では比較的動きまわらない。

### 在来種

### 周縁魚

※ 比較的大きな個体(20cm以上)が、春の彼岸頃海岸付近で見ることが出来る。幼魚や若魚は一年を通して汽水域でも見られる。